１グループ（ＣＭ）

・専門職がたくさんいていいなと思う（浜益は人数が少ない）。オアシス２１が出張して、浜益と交流できたら。地域活性と交流。協力してくれる専門職や事業所などあればよい。
・事業所との架け橋等、いしまちひろばでできればよい。
・いしまちひろばをアピールしてほしい。リアルタイムの掲示板があればよい。
・民生委員にケアマネのことを知ってもらう機会を持てたらいいのでは。もっと関係性を持てたら。
・インフォーマルサービスをもっと知って活用できればよい。

２グループ（ＣＭ）

〇個人（資格、立場に基づいて）できそうな事
　・ケアマネとして、他系列事業所への声かけ（つながり）や紹介
　・個人的に除雪ボランティア
〇事業所としてできそうなこと、他事業所と一緒にできること
　・〇〇広場、〇〇祭り等の開催して他事業所の健康教室等参加
　・施設の祭りに他施設の利用者を招待（参加）
〇同業種、同職種の集まりだったらできそうなこと
　・社協、ケアマネ　基本情報・調整
　・介護保険サービス以外の相談の受付？　⇒　サービスの情報を聞きたい
　・一事務所で得た有効な社会資源を他事業所へも声かけ

浜益→サービス少ない　　雪おろし業者

ケアマネ連絡会の開催（年２回）　保険改正やサービスの認識をすり合わせ

３グループ（デイ、ヘルパー）

〇ボランティアでの運営の大変さ
　・職員面接の際にもボランティアがあることを伝え、同意をもらっている。
　・自分達からの発信が難しい（待ちの姿勢）。
〇空き家でサロンができると良いが
〇運動セラピストがいる・やるから乗る人もいる。存在大きい。
　　↳ いない所でも広げて　　連携して情報交換
　・事業所苦しくなく、市民も楽しく
〇当別町内全デイで合同のファミレス食事会（社協の音頭で）

４グループ（デイ、ヘルパー）

地域活動できていない　⇒　課 人・場所の協力が必要

（方 近くの事業所で共同で予防教室や講座を考えている
課 町内会と上手く話を進めていくのが課題）

・認知症カフェ　　当事者と家族　地域で支える
　　支援者が話せる場づくり

オレンジプランで
すすめている
石狩市でも　　行政と事業所で協力したい

ビール売るようになり、祭りに来る
地域住民の参加が増えた

方 娯楽要素を大きくしてみては？

・サロン　５～６人　⇒　１５～１６人に増えた
（エルサ）
・場所が狭い、会館借りるのに費用がかかる
・利用する人が少なくても、継続することで元気になる交流の場をつくる　⇒　悩みを解決するにはという話になる

職種として、事業所として、出来たらいいこと

・事業所の人として地域にでていく必要はあるけど、個人ではどうすればよいのか課題
　仕事でないとこでやると自分のプライベートの負担にもなりえる
・スタッフは当番制でやっている

課
・地域によっては、元気なら札幌に行きたい
　だから市でやっている行事に参加しない人もいる　⇒　市の要請でやるのが効率的。
　　地域性≒人（男性が家にいること多い）
　　いかに外に出てもらうかが課題

少し外出して楽しめる
場所が石狩は少ない
市民のニーズを知る
方

５グループ（病院、医院）

・北海道ＭＳＷ協会　⇒　出張講座
・地域のＣＭに対して、ＨＰを知ってもらうためには？

・健康まつり（ふれあいクリニックの参加）・・・リフレッシュサロンと共同して
　⇒介護側が医療職に求めることを知る良い機械だと思う
　⇒異業種での関わりの場
・肺炎球菌ワクチンにまつわる講座の開催（Ｎｒｓ．３名で出向いた）
　⇒老人会に参加
　⇒予防には地域の人々は興味があるかも
・まちかど介護相談所・・・あまり周知されていない？
　⇒広報にも載せているが・・・
・町内会に出向くといっても継続するのが難しそう
・ＣＭ～Ｈｐに入院相談。療養にも電話
・脳外や精神科は敷居が高いイメージ
・血管年齢（ムトウ：無料レンタル）、骨密度測定 etc
・Ｄｒ．が出張講座：（石狩、茨戸）⇒実施している
・子供達との交流
・町内との関わり・・・交流（声かけてもなかなか難しい）
　⇒町内会館の利用
・サロンへの参加、夏祭りの実施（地域の人が参加したいなと思うこと）
・石狩市ならではの魅力、アピール
・空き家でのサロン開催
・セラピストが直接講話
・他ＣＭ事業所との連携（情報交換）
・ひろば、まつりの開催
・いしまちひろば（掲示板）
・民生委員の活用

６グループ（施設）

〇感想など

・近くてオアシス２１の活動もよくみれていなかった

・気軽に参加できるとよいと思った　⇒　南コミセンも無料ではないので、

　　‖　　バランスが必要

・一人暮らしの人が行けるところ（近所の人を助けたことがある）

・はなれた地域の人も参加できる機会が必要（石狩の問題）

・地域貢献には色々な形があることを知った（お祭り、教室、広報誌など）

〇サービス職種として、これから何ができそうか

・介護保険の講話をしてほしいと依頼があった

・事業所が行っているものを知ることができれば、紹介していくことができると思った

・それぞれのニーズにあった活動を紹介できればよい

・貢献としてあげたものに、「お祭りが多かった」

・業務の中で、お願いされても行けないことがあった

・一講座２時間（9:00-11:00 か 13:00-15:00 の設定が多い）

・僻地での開催も必要（交通機関の関係で来れない人もいるので、開催時期は検討必要）

・包括はタイアップ（一緒にするか、紹介する）

・「これ」という一つは決められない

・市民講演会などでの宣伝　⇒　包括だけじゃなく、他の事業所も参加してもらう

・個別訪問で、地域で何があるか知ることができる

・チラシをはさみこむ　⇒　アピール

７グループ（ＧＨ）

・地域に出向いて、出張講座などやっている、勉強になった

・夏祭りが多かった

・病院からの公開講座の案内（石狩はあるのか？）、介護予防、けっこうやっているんだと参考になった

・地域住民としては、事業所がやっていることを理解していない

・色々な活動をしているんだという驚き　　地域サロン　⇒　興味をもった

・２０年前、地域との関わりなかった。今は色々やっているんだと驚き。情報を持っていれば楽しめる

・札幌　⇒　色々な案内　　石狩少ないのか　　赤十字のボランティア

　　意見交換など石狩市もどんどんしていくとよい

☆これから何ができそうか

・学校とのつながり　⇒　地域との交流　　色々なところに出る機会

・子供達に来てほしい　⇒　入居者に周って欲しい

・ふれあい　⇒　・職員の子供が小学生だった時は、毎年一年生の子供が学校として行事の中に入れてくれている

・学習発表会のあとに周ってきてくれる

・どうやって接点を持てばよいのか、以前は子供との交流があったが、継続していない

・スタッフの子供がいる場合は交流しやすい

・ＧＨに色々な人が来るのは難しい　⇒　町内会館の利用に取り組んだ

・町内会費を払ってないと認められないと言われる地域もある

・町内の温泉旅行などは参加しない。地域のまつりには参加している

・色々な活動をしているのですばらしい

・色々なものに参加できたら楽しい

・もっと情報がわかれと楽しいのでは

☆色々な取組みをしているんだなー　⇒　情報があればよい

☆子供との交流

☆町内でのかかわり